

## 平成26年度 練馬区立立野小学校 学校評価の報告

春暖の候、保護者、地域の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年末は学校評価に係るアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この度、平成26年度の学校評価につきまして、学校関係者評価委員会を開催し評価結果の取りまとめを行いましたので、ご報告いたします。

## 記

## 1 学校関係者評価委員会について

- (1) 開催日時 平成27年2月17日(火) 午前10時00分～午前11時30分  
 (2) 開催場所 本校応接室  
 (3) 評価の緒流れ

学校が、平成26年度練馬区立立野小学校経営計画に基づき、教員が自ら行った評価・保護者アンケート・児童アンケートの結果を考察し、改善策を策定する。

結果と考察、改善策について、学校関係者評価委員会で検討する。

## 2 評価結果の取りまとめについて

- (1) 学校関係者評価委員会での検討を経た評価結果の取りまとめを公表する。  
 (2) 練馬区教育委員会に報告する。  
 (3) 次年度の本校教育課程編成に生かす。

## 3 評価者等について

- (1) 教員 実施時期 平成27年1月上旬実施(年間を通した評価)  
 実施人数 17人(全学級担任・専科・養護教諭等)  
 方法 質問紙法による
- (2) 保護者 実施時期 平成26年12月中旬実施  
 最多回答数 375人(在校児童の約91.0%)  
 項目によって有効回答数が少ない場合もあります。  
 方法 質問紙法による
- (3) 児童 実施時期 平成26年12月中旬実施  
 実施人数 274人(3～6年生児童)  
 方法 質問紙法による

## 4 評価項目について

評価は、4段階で行う。

- (1) 教員 4段階の評価基準にあてはめた回答  
 (2) 保護者 4 = とてもそう思う 3 = そう思う 2 = あまりそう思わない 1 = そう思わない  
 (3) 児童 4 = とても 3 = だいたい 2 = あまり 1 = ぜんぜん

## 5 根拠となる資料

評価者	評価項目 - 1	評価結果
教員	相手を意識して、話を「よく聞く」ことができるように、学年・学級に応じた取組を行う。	3.19
保護者	話の聞き方をしっかり指導しながら授業に取り組んでいる。	3.43
児童	私たちがしっかり話を聞けるように、話の聞き方を教えてくれている。	3.54
考察	・学級指導や各学習の時間に、学習規律として、担任が話をよく聞くことの重要性を指導した。 ・毎週月曜日の全校朝会や音楽朝会、児童集会や避難訓練など、大勢が集まる際のルールとして、集まったらおしゃべりをしないことや、話をしている人の方に体を向けることを、全校で指導した。	
改善策等	・今後も、全校での集まりや学年での集団行動等において、「黙って集合する・話をよく聞く」ことは、立野小のルールであることを、児童に徹底させていく。 ・今後も、国語の時間を中心に、学年の発達段階に合わせた話の聞き方を指導していく。	

## 学校関係者評価

どのくらいの学年から「よく聞く」ができるようになるのだろうか。個人差の大きな問題ではあると思うが、学年の発達段階に応じた程度の聞く力は身に付けてほしい。(正確に聞ける、要点をまとめながら聞ける、など)  
 「よく聞く」は家庭環境も大きく影響している。家庭でよく話をする子は、心の安定がなされていることもあり、理解する力も高い。したがって、よく聞く力も備わっていく。

評価者	評価項目 - 2	評価結果
教員	様々な表現方法を使って自分の考えを伝えられるように、学年・学級に応じた取組を行う。	3.13
保護者	授業の中に、自分の考えを文章に書いたり、友達と交流したりする時間を設け指導している。	3.46
児童	授業の中で、自分の考えを書いたり、友達と交流したりする時間を設けてくれている。	3.82
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度までの研究(国語科)の成果を生かし、算数や他の教科等でも、学習中に児童相互の考えを交流する時間を大切に授業展開に努めた。</li> <li>・交流活動(話し合い活動)はいろいろな教科で取り入れることができた。また、自分の考えをノートにまとめた後、それを交流活動につなげた。</li> <li>・道徳の授業の一部は、型にはまっでいて、あまり発言がなかったこともあった。</li> </ul>	
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の発達段階に応じ、児童が取り組みやすいように、話形を揃えたり、話の手順を示したりして発表への意欲を高める。</li> <li>・交流のねらいや内容がよく分かる掲示物等を工夫する。</li> <li>・児童相互の学び合いを充実させるために、学習の中に交流活動の時間を設定し話し合い活動を活性化させる。</li> </ul>	
<b>学校関係者評価</b> 授業の中で、先生の励ましや友達の言葉で(他から認められることで)、学習が深まったり、もっとがんばろうとする姿が見られたりしていたと思う。		

評価者	評価項目 - 3	評価結果
教員	授業の始めにめあてを示し、終わりに振り返りを行い次時の授業に生かす。	3.00
保護者	学習のめあてを児童に示して授業を行い、めあてに沿った評価を行っている。	3.44
児童	私たちがめあてをもって学習に取り組めるようにしてくれている。	3.78
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度は特に、算数や体育の学習において、単元全体の学習計画を立て、めあてに沿った指導と評価、めあて達成のための指導・支援を工夫することができた。</li> <li>・めあてを書くことによって、児童に一単位時間の学習の流れを意識付けることができた。</li> <li>・学習のめあては示しているが、振り返りについては教科によって不十分なきがかった。</li> </ul>	
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年に応じ、1時間の学習の始まりやまとめの仕方を工夫し、実践する。</li> <li>・単元の流れがわかる掲示物等を工夫する。</li> <li>・学習のめあてを達成するために、特に、個別の指導や個に応じた対応の充実をさらに図る。</li> <li>・来年度も、教科担任制や交換授業を継続し、めあてに沿った学習の充実を図る。</li> </ul>	
<b>学校関係者評価</b> 子供たちが自分なりの目標を立てられている。クラスで、グループで、個人で、今日はここまでがんばろうという目標(めあて)が決められているから学習が進められのと思う。子供たちがいいに育てられている。		

評価者	評価項目 - 4	評価結果
教員	挨拶と返事をする習慣を身に付けさせる。	3.06
保護者	児童が進んで挨拶をしたり、名前を呼ばれたらしっかり返事をするよう指導している。	3.55
児童	私たちが進んであいさつや返事をするように気をつけてくれている。	3.75
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通し、学年ごとで実施した挨拶運動では、児童が分担して校門で他の児童を迎え、挨拶する体験をさせた。その結果、言葉を発するときの気持ちや分り、挨拶の大切さや効果を感じ取ることができた。</li> <li>・挨拶や返事をする習慣は概ね身に付いてきているが、学校の外に出ると、進んで挨拶のできる児童は少ない。</li> <li>・挨拶運動や学習における返事等の学習規律の指導については、保護者会での話題にして、協力を得られていた。</li> </ul>	
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通し、挨拶や返事をする習慣を身に付けさせる指導・援助を繰り返し行う。また、生活指導の目標として取組む等、常に児童に意識させるような工夫を継続して行う。</li> <li>・来客・来校者に対する挨拶も積極的にを行うよう指導していく。</li> <li>・学習規律として返事について引き続き指導していく。</li> <li>・来年度も、毎朝の欠席報告活動を実施し、管理職による児童への挨拶・マナー指導を行う。</li> </ul>	
<b>学校関係者評価</b> 町会の防犯活動中に、気持ちの良い挨拶をしてすれ違って行った子供がいた。外できちんとできる子供もいる。まず、大人から声をかけることが大切。 移動教室や水泳大会などで、他校の方から感想を聞くと、マナーや態度が良いと褒めてくださった。目に見えないところできちんとしてくれる子供も多い。学校での指導が浸透している。継続して指導している結果だと思う。子供自身も、自らきちんとしていくことへのプライドを持っている。正しい比較ができるようになってきていると感じる。		

評価者	評価項目 - 5	評価結果
教員	いじめの早期発見に向け、年3回の「学校生活アンケート」を実施し情報を学校全体で共有するとともに、組織的にその解決を図る。	3.40
保護者	児童が安心して学校生活を送れるように見守ってしてくれる。	3.54
児童	困ったことや心配なことがあると声をかけてくれたり、相談にのってくれる。	3.36
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果から、児童間の人間関係や悩みを把握することができ、指導・支援の参考となって、トラブルの芽をつむぐことができた。</li> <li>・専科教員も、担任と同じ歩調で目配りに努めた。</li> <li>・校内では、スクールカウンセラーや心のふれあい相談員・学校生活支援員と連携して児童理解に努めた。また、関係機関として関係機関との情報交換を密に行った。</li> </ul>	
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から、児童間の人間関係や行動に対して目配りを深め、わずかなサインも見落とさないように児童理解に努める。</li> <li>・情報の把握と共有のために、年3回の学校生活アンケート実施後の指導を確実にに行い、未然防止・早期発見に努める。また、いじめや不登校等に関する研修を実施し、児童に対する観察力・理解力の向上を図る。</li> </ul>	
<b>学校関係者評価</b> 給食中に、先生と子供が会食タイムを行っているクラスもある。家庭での夕食のようである。子供たちからの情報を取り入れ、人間関係の把握に役立っている。 ひろばは学校とは違い、子供たちの“素の部分”がよく表れるところである。ひろばで見られる子供の姿や人間関係も大切である。学校とひろばのスタッフが情報交換をして子供を育てることが大切である。		

評価者	評価項目 - 6	評価結果
教員	読書月間だけでなく、年間を通じて読書活動を継続し、計画的に学校図書館を利用させる。	3.08
保護者	児童が進んで読書をしたり、学校図書館を利用したりするよう指導している。	3.32
児童	読書を勧めたり、学校図書館を利用しやすいようにしたりしてくれている。	3.43
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書の時間を大切に、本に親しむように努めていたが、読書好きの児童とそうでない児童との差が大きく、指導の難しさを感じている。</li> <li>・本年度、読書活動協力者を依頼し、図書室の整備・蔵書の整備・読書環境づくりを継続的に進め、学校図書館整備ボランティアの指導・援助を行い、図書室や学級文庫が整ってきた。</li> <li>・保護者の図書ボランティア「読みママ」活動が定着しており、児童の興味関心を高めていた。</li> </ul>	
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、学校の特色ある教育活動のひとつに、「読書活動の推進」を位置づけ、児童への啓発・体験活動を継続して行っていく。</li> <li>・学校全体で、読書が習慣化する活動を計画・実施する。</li> <li>・読書月間の充実を図り、多様な読書活動を体験させる。(読み聞かせ、ブックトークなど)</li> <li>・保護者が主体となる学校図書館整備ボランティア活動の支援をしっかりと行う。</li> </ul>	
学校関係者評価 図書の貸し出しや利用については学年差・学級差が大きいと感じる。		

評価者	評価項目 - 7	評価結果
教員	中休みは、全校児童を校庭に出し、様々な運動を経験させる。	3.46
保護者	児童が運動に親しむようにしてくれている。	3.52
児童	中休みは、外遊びができるように時間を確保してくれている。	3.76
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調の悪い児童を除き、休み時間は外で遊ぶように指導していた。</li> <li>・なわ跳びや持久走など、具体的な目標がはっきりしているほど、よく外にでて遊んでいる。</li> <li>・先生方は、子供たちと一緒に遊んだり側で見守ったりして、児童を励ましていた。</li> </ul>	
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、休み時間は外遊びの励行を継続して行う。</li> <li>・なわ跳び、持久走は体力づくりとして定着してきたので、今後、全校で取り組める運動を模索していきたい。</li> </ul>	
学校関係者評価 持久走やなわ跳びの話家を帰ってから子供がよく話してくれた。それくらい、運動経験をたくさん積んだものといえる。反対に、ボール投げや反復横跳びなどの力が低下しているが、持久走やなわ跳びと同じように経験を積めるようなスポーツはないだろうか。体育時の補助運動として行っているが、それ以外には、学校全体もしくは学年単位で、ボールを操作する集会などを取り入れることも考えられる。		

評価者	評価項目 - 8	評価結果
教員	学校・学年だよりは毎月発行し、学級だよりも毎月1回以上発行する。	3.27
保護者	学級だよりを発行し、児童の様子等を知らせている。	3.63
児童	学級だよりなどで、私たちの様子をおうちの人に知らせてくれている。	3.78
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・学年だよりは毎月発行している。特に、学校だよりでは、児童の学習・生活の活動場面を、写真資料などを使ってわかりやすく紹介し、保護者・地域の皆さんに情報発信することができた。</li> <li>・学級だよりの発行については、学級間に差があり、教員の自己評価にも差が表れた。目標達成は十分とは言えなかった。</li> <li>・学校と家庭が連携協力して教育にあたるために、学校生活や児童の様子をこまめに保護者に伝えることが重要である。</li> </ul>	
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級だよりを月平均1回以上は発行する。</li> <li>・保護者会・個人面談等における児童の様子の伝え方を工夫し、質の高い情報交換が行えるように努める。</li> <li>・伝達が必要な情報については、区学校連絡メールも活用し、迅速かつ的確に伝える。</li> </ul>	
学校関係者評価 不審者情報など、メールの内容によっては、町会とも情報共有をすることで、子供たちの安全や地域の防犯活動を安全を一層確保することができると思う。		

評価者	評価項目 - 9	評価結果
教員	専門家や地域人材をゲストティーチャーとして招いたり保護者ボランティアに授業の協力を依頼したりする。	3.18
保護者	ゲストティーチャーや学習ボランティア(保護者を含む)等、外部の方と連携して教育を進めている。	3.35
児童	私たちの学習のために、ゲストティーチャーやボランティアの方を呼んでくれている。	3.57
考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年の学習内容時期に関連させて、計画的に外部への協力を依頼している。</li> <li>・ゲストティーチャー等の外部講師等による学習は、1年生を除き実施できた。</li> <li>・保護者ボランティアについては、学年の学習内容によって依頼量の差はあるが、道具作成の補助や校外学習での安全管理など、様々な場面でご協力いただいている。</li> </ul>	
改善策等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、児童の学習内容に関連した体験的学習を味わわせるよう努める。</li> <li>・次年度の講師招聘に係る予算は厳しいが、多方面の協力をいただきながら外部講師等による学習を実施していきたい。</li> </ul>	
学校関係者評価 この改善策で進めて欲しい。		

学校関係者評価委員の皆様からの自由意見  
 学校外で、高学年の子供たちは下学年を遊ばせるのがあまり上手でない。手加減ができなくてトラブルを起こすこともあった。そのようなとき、下学年の子供は、「先生に言いつけてやる」ではなく、「先生に相談する」と言う。この言葉からも、この子供と先生との関係がしっかりできていることが分かった。学校での指導に心が通っていると感じた。

# 自由記述

～貴重なご意見をありがとうございました～

## 継続・発展を望むご意見

学校の雰囲気 教職員の対応	アットホームな校風で、良い環境の中で学ばせていただいていると思います。 子供たちのことをよく見てくださって、ありがたいです。 先生方が熱心で、子供たちと一緒に外で遊んでくださるので、子供もとても喜んでます。 先生方の連携がよくできていて、他の学年の子のこともよく知っているのが安心です。 子供や保護者と正面から向き合い、柔軟に(すぐに)対応して下さるのがありがたいです。
心の教育 人権教育	善悪の判断や人の気持ちを理解するのが未熟な時期なので、道徳教育を十分に行っていただきたい。 他人を尊重し、思いやりを育む授業の充実をお願いします。 子供の特性に合わせた指導と配慮をして下さっていて、ありがたいです。どの子供にも気持ちよく過ごせる環境作りをよろしくをお願いします。
学習	先生方のおかげで、学習に興味がわいてきたようです。子供たちのやる気を引き出すような指導をして下さるのがうれ しいです。 子供たちが自分で課題やテーマを決め、自らまとめ発表する学習は大切だと思います。今後も取り組んでいただき たい。
体力づくり	なわ跳びや持久走の機会を多く設定して下さって、ありがたいです。今後も、体力作りをよろしくをお願いします。
異学年交流	上学年になるほど責任感を持ち、下級生を引っ張っていくという自覚をもつ姿が素晴らしいと思います。たてわり活 動 (他学年との交流)を、より多く作っていただきたいです。
よみママ活動	よみママの活動は、とてもすばらしいと思います。これからも続けていってほしいです。

立野小学校の教育活動をいつも支えていただき、ありがとうございます。また、今回は、教職員への励ましの言葉も多数いただきました。今後とも、「学校は、集団で学ぶところである」という学校生活の最大の特徴を生かしながら、一人一人の個性を大切に  
する教育を続けていきたいと思ひます。そのためには、日々授業改善に励み、子供と共に過ごす時間を大切にして、教師と子  
供の確かな信頼関係を築いてまいります。また、「豊かな心とつよい体」を育てるために、道徳教育やたてわり活動、体育的活動  
などに、より一層力を入れていきます。

## 改善を望むご意見・ご質問

	ご意見・ご質問	学校からの回答
学習内容	作文(文章)を書く機会をもう少し多くしてはど うでしょうか。  1年生の頃から、英語に触れる学習があるとい いです。英語教育の情報があまり入ってこない ように思います。	自分の考えや思いを適切に表現する力は、子供たちの学びを支 える基礎・基本として、時間をかけて確実に育てていきたい力 です。学校では、作文だけでなく、ノートやワークシート、発表メモや 新聞づくりなど、全ての教科の様々な学習場面で、書く学習に取り 組んでいます。学年によっては、家庭学習の一つとして取り組んで いる学年・学級もあります。今後も、機会を捉え、書く学習活動を充 実させていきます。  5・6年生は週に1時間、外国語活動の学習があります。来年度 はネイティブのALTがT2として支援する時間もあります。低・中学 年の外国語活動については、時間数は少なくとも実施可能である かどうか、今後、検討していきます。
学校行事	展覧会をなくし、音楽会と学芸会を2年に一度 ずつ行ってはどうでしょうか。	子供たちにとって、絵画や工作などの自由で創造的な活動を経 験することは、自己表現の一つであり、自分をつくっていく大切な 学習だと考えています。また、展覧会は、子供たちがお互いの作品 を鑑賞し、よさを認め合い、さらに自分の世界を広げていく貴重な 機会と捉えていますので、来年度は展覧会を行います。ご理解くだ さい。
学級経営	先生から「このようなクラスにしたい」というよ うなメッセージがあるといいです。	保護者会・個人面談が、単なる“連絡の場”ではなく、“お互いの 思いを共有できる場”となるよう、その内容を工夫改善してまいり ます。また、学年便り・学級通信などは、担任の子供たちへの思いが 伝わるような紙面作りを心がけます。
読書活動	読書活動では、学校図書館の利用・活用はよ くやっていただいていると思いますが、校外の図 書館利用率が少ないように思うのですが。	現在は、各教科や総合的な学習の時間の調べ学習に必要な本 を、公立図書館からまとめて借りる“団体貸し出し”をよく利用して います。今後、個人単位の図書館利用が促せるか検討いたしま す。
よみママ活動	学校にとって、「読みママ」活動の位置付け は、どうなっているのでしょうか。	読書活動の活性化は、区でも重点の1つに取り上げています。 本校では、学校図書館ボランティア活動と、保護者の皆様が運営 主体の「よみママ」の2本立てで子供たちの読書活動をサポートし ていただいています。長年続く「読みママ」活動は、本校の大切な 特色の一つであると捉えています。今後とも、保護者の皆様のご 協力をよろしくお願ひいたします。
アンケート	記名式だと、表面的な意見を述べるにとどま ってしまうので、無記名にした方が本心に踏み込 めると思ひます。	アンケート提出に関しては、今年度から教室ではなく、昇降口の 回収ボックスに入れる方法に変更いたしました。 記名に関しては、お書きいただいた内容によっては、学校からさ らに詳しくお話を伺わせていただいたり、お返事をする場合もあり ますので、お書きいただきたいと思ひます。子供たちの健やかな成 長のために、保護者の皆さんと学校は、双方向な関係でありたい と思ひますので、アンケートには、遠慮せずにお書きください。

この他にも、学習習慣に関することや、お子さんの学校生活に対するご心配やご要望などについてご意見をいただきました。  
その内容につきましては、担任もしくは担当者と共に、今後の対応について検討いたしました。来年度の教育活動に生かしてま